

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 3 日

事務事業名		桜川市長選挙				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 099809001006	
		総合計画の施策名 0998 選挙関係				単独/補助		020101	
政策体系	政策名	09	政策外事業			主要事業		所属課	
	施策名	98	選挙関係			市長マニフェスト		総務課	
	手段名	09	選挙関係			未来PJ事業		グループ	
		財務会計上の位置付け				合併建設計画事業		総務グループ	
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	事業期間	
		01	02	04	03	01	00	単年度のみ (年度)	
法令根拠		公職選挙法				一般会計		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
						市長選挙事業			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 平成29年10月29日任期満了による桜川市長選挙の執行事務。 当初は10月15日投開票で予定していたが、衆議院の解散となり10月22日が投票日となったため、選挙管理委員会において協議し、衆議院議員総選挙と併せて10月22日執行となった。市議会議員が1名立候補したが、辞表が提出されなかったため、立候補と同時に失職となり、補欠選挙は行われなかった。 当日有権者数：男17,972人 女18,707人 計36,679人 当日投票者数：男6,241人 女5,439人 計11,680人 期日前投票者数：男5,943人 女7,237人 計13,180人 不在者投票者数：男55人 女81人 計136人 投票率：男68.10% 女68.19% 計68.15%
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 担当者が行う主な業務 ・選挙事務関係者の委嘱、選任 ・ポスター掲示場の設置 ・選挙人名簿の登録、作成 ・候補者への立候補に関する説明会の開催 ・立候補に関する受付事務、選挙事務説明会の開催 ・選挙公報の作成、配布 ・期日前投票事務及び不在者投票の受付 ・個人演説会の届出受付 ・投開票事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
ポスター掲示場の設置 選挙人名簿の登録 投票所の設置(当日、期日前) 立候補受付、説明会	投票所数	箇所	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
日本国民で満18歳以上の者で、引き続き3ヶ月以上桜川市の区域内に住所を有する者。(選挙時登録にて選挙人名簿に登録されている者)	有権者数(選挙時登録)		0.00	36,679.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
選挙事務を正確・迅速に行い、公正な選挙を行えるようにする。	選挙違反件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	選挙結果に関する異議申出	件	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0			0
		県支出金	0	0	0			0
		地方債	0	0	0			0
		使用料・手数料	0	0	0			0
		その他	0	0	0			0
		一般財源	0	6,441	0			0
	事業費計(A)	0	6,441	0			0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人			
	述べ業務時間	時間	0.00	0.00	0.00			
	人件費計(B)	千円	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	6,441	0		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)				30年度事業費 予算(千円)			
	01 報酬	03 職員手当等	11 需用費	12 役務費	13 委託料	19 負担金補助及び交付金	合計	合計
	160	891	668	113	3,006	1,603		
							6,441	0

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	桜川市長選挙	事務事業No.	99809001006	所属課	総務課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成17年10月1日の町村合併(岩瀬町、真壁町、大和村)により、桜川市となったため

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特に意見要望はない

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	選挙関係については、政策体系外の業務であるが、適正な選挙執行管理事務を行うことにより、公正な選挙が行われ、市の政策を推進することに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法令(公職選挙法)で定められた事務事業であり、委ねることはできない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	法令で定められた事業であるので、選挙以外での手段ではできない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法令で定められた事業であるので、選挙以外での手段ではできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	投票所の再編を行い、人件費を大幅に削減しているので、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	有権者に保障された権利であり、受益者負担を求めることは不適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今回の選挙において、落選した2名の方より異議申出があったが、申出にあったような事実はなく、申出人の臆測にすぎない内容であった。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

(6) 事務事業優先度評価結果
成果優先度評価結果
コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>